

本年度の 重点目標	キャリア教育を推進し、地域から信頼される学校をめざし、進路目標の実現、学習活動の充実、社会規範を主体的に遵守できる生徒の育成に努める。		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	最終評価
総務 （総務部）	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 活動のさらなる充実 ・ 施設、設備等の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A の各委員会活動を通じて、P T A 活動をより魅力あるものにする。 ・ 他分掌、学年と連携しながら、現状の把握を正確に行い、予算委員会にはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 役員、各委員会と連絡を密にし例年以上に活発に活動できた。また、委員会の運営の付いても再検討した。地区研修会の発表も満足いくものができた。 ・ 他分掌、学年と連携し、すすめることが出来た。机、いす等の整備は十分に出来た。
教務 （教務部）	授業改善 多忙化の解消による本来業務への集中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科主任会を基点に、意見交換や情報発信に努める。 ・ 授業改善に意欲的な教員をつなぐ機会を設け、授業改善の話題が気軽にできる環境を作る。 ・ 業務の記録やマニュアル化を促進し、永続的な多忙化の解消をする。 ・ スクラップ&ビルドを随時行い、教務部や教員としての教科指導力を磨く時間を生み出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「授業改善を語り合う会」を3回実施し、第3回は授業見学と合わせて行った。意欲的な教員をつなぎ、参加した教員からは継続を望む声も出ているが、全体の環境改善には至っていない。教科主任会では授業改善の取り組みは今一步という反省もあった。 ・ 業務の記録や整理は進んだが、マニュアル化やスクラップは一部に留まった。業務改善のための一時的な業務（ビルド）が増え、今年度においては多忙化の解消は解消されなかった。来年度以降に整理した効果が出ることを期待したい。
生徒指導 （生徒指導部）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち着いた学校生活を過ごせる雰囲気作り ・ 基本的な生活習慣の確立 ・ 良好な人間関係の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身だしなみ指導の充実 ・ 時間を守る意識の向上 ・ スマホ指導の継続 ・ いじめアンケートの活用 ・ いじめの未然防止、早期発見、適切な措置、点検・検証・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不定期に巡回指導を実施して、身だしなみの充実を図ることができた。生活指導強調週間では生徒と一緒にポスターの作成や挨拶運動を実施するなど、積極的な活動を展開できた。 ・ 早朝登校指導の継続により、全体的に時間を守る意識を高く保てた。始業式や終業式などの全校集会では、予定時間より早く集合できているなど、意識の高さを感じられる。スマホに関してはなかなかゼロにはならないが、不定期の巡回でも学年で数人の利用にとどまっており、周りに友だちがいても時間さえあればスマホを見るような状態ではない。 ・ アンケートを実施することで実態を把握することができた。 ・ いじめ防止対策委員会を開催し早期対応、教室復帰ができたケースもある。
進路指導 （進路指導部）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「夢」（進路目標）を見つけ、育む活動の支援 ・ 創造表現コース生徒の具体的な進路指導の研究 ・ 新入試への適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生では総合学習において、発表活動、社会人訪問、講演会を通して、主体性や社会性を学び、将来の生き方を考えさせる。 ・ 創表コースの進路について具体的大学名や入試方式意識した指導を行う。 ・ eポートフォリオの利用について早急に研究し、生徒の入力方法などを具体的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度までの基本形を踏襲しつつ、進路総合担当と学年の連携を密にし、より良い形に改善できた。生徒の発表がより活発になり、新たに論文作成にも取り組むなど内容が充実したものになった。 ・ 研究は始めるものの具体的にはまだ進んでおらず、今後の課題である。 ・ 電子データの入力は尚早であると判断し、紙媒体での記録を行っている。各活動毎のP D C A サイクル構築を意識した様式を工夫し記録させているが、本来のねらいを意識できていない生徒も多く、今後の課題である。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	最終評価
進路指導 （進路指導部）	<ul style="list-style-type: none"> ・本当の学力や人間力を高めようとする気持ちを育てる。 ・「夢」の実現に直接かかわる受験等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・2・3年生では進路LTや羅針盤などを通し「夢」を育て、蓄積的学習を促す。 ・補習の受講や校外模試の受験を勧めるとともに、生徒や担任に有用な形で結果をフィードバックする。 ・3年生では、センター試験や私大2次対策、推薦AO入試などにも適切に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語民間認定試験への対応として、1年3学期でGTEC受検を実施した。 ・2年生は年度後半になり意識が高まってきた。 ・3年生は学年との協力体制の下でのさまざまな指導が効果を上げつつある。生徒もセンター試験直前期から非常に意識が高まり、成果を挙げつつある。 ・2、3年とも年間計画に添って補習・模試を進めており概ね順調である。 ・指定校推薦においてこれまでになかった問題が持ち上がった。来年度に向けて、学校全体で新たな指導体制をつくるため、改善案を策定し議論を進めている。
保健 （保健部）	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主性を育む健康管理実践 ・教育相談の充実 ・学校環境の美化、整備への積極的取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康管理を自主的に行わせる健康チェックや健康相談を実施する。 ・スクールカウンセラーによる教育相談と校内での相談活動との連携を行う。 ・清掃指導によりゴミ減量、分別の実践及び清掃活動の充実を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室を利用する生徒に問診票で生活と健康チェックを行い、体調の自己管理について保健指導を行った。また、頻繁に保健室を利用する生徒や健康状態が気になる生徒については関係者で対応方針を協議し合い、必要に応じて健康相談を行ったり、スクールカウンセラーに繋いだりした。 ・本人のみならず保護者のも実施している。また、担任や学年主任の先生方がスクールカウンセラーと直接話す機会を設けている。校内での相談活動とも連携でき有効に機能していると考えている。 ・生徒による日常の清掃活動や美化点検および大掃除の取組は概ね良好であった。今後もより良い活動を目指し日程や方法を改善していきたい。
図書 （図書部）	<ul style="list-style-type: none"> ・読書への関心を深める ・芸術や文化への理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書、学習センターとしての図書館機能の充実 ・文化的行事の円滑な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館オリエンテーションの実施日については、学年、クラスの要望を受け、柔軟に対応した。読書感想文コンクール、展示や広報等の図書委員会活動、幅広い図書の選定などにより、生徒の読書・学習活動を支援できた。また、プロジェクター等も貸出回数が増えている。視聴覚室利用も増加しており、定時制もときおり利用している。プロジェクターのコントローラーは引き続き司書室で管理し、紛失しないようにした。 ・今年度文化的行事は劇団四季全館貸し切りで、従来と会場が異なったが、校内外の連携によって円滑に準備することができた。また、来年度より1年生のみ劇団四季観劇となる。
生徒会 （生徒会部）	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会等を通じた学校生活全般の充実 ・部活動の日常的活動における「質」の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的取組の充実を図ることで、委員会活動の周知を図る。 ・西高祭における役割分担を見直し、委員会を中心とした編成に改変する。 ・意識向上が技術向上に直結している点を強調した取り組みを展開する。 ・昨年度の部活動予算見直しに関する検証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の活動では、生徒会総務が西高祭業務に奔走したため、委員会の活用が進まなかった。後期には、西高祭準備や学校新聞の発行において委員会を活用することができた。次年度西高祭に向けての準備について、本年度反省を踏まえて進めている。 ・スポーツ庁や文化庁から発表された部活動ガイドラインを受け、次年度に向けた部活動のあり方の検討を進めることができた。多様な生徒の実態におうじた多様な活動形態を保障するように進めている。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	最終評価
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の可能性を広げる ・基本的学習習慣の確立 ・基本的生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校行事などに前向きに挑戦しようとする資質を育成する。 ・毎日の授業を、集中して受けさせ、家庭学習の習慣を身につけさせる。 ・生徒の実態の把握に努めながら、必要な指導、助言をしていく。 ・規則正しい生活習慣を確立させる。 ・欠席・遅刻の多い生徒や身だしなみで注意すべき生徒については、生徒指導部 ・保健部と連携して早期の指導に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭は前向きな気持ちで取り組み、満足度が高かった。 ・多くの生徒は部活動に対して意欲的に取り組んでいるが、一部活動できていない生徒への対策も必要である。 ・授業への取り組みは、大部分が集中しよい状態であるが、受身な姿勢も見受けられる。 ・学習記録を記入させることで、生徒の実態を把握することができた。週末課題等に取り組むため、休日の学習時間は増えている。予習・復習・課題の効果的なやり方を指導していく必要がある。 ・一部の生徒の欠席・遅刻が目立った。休みがちな生徒に対して、担任や保健部と連携して働きかけることはできたが、具体的な解決策までには至らなかった。 ・身だしなみや携帯の使用について、学年指導部中心に継続的な指導ができています。
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動・学校行事への積極的な取り組み ・学習習慣の確立 ・毎日の充実と将来につながる進路選択を考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や西高祭などの学校行事に中心学年として責任を持って取り組む。 ・自ら計画を立てて学ぶ姿勢を育む。 ・各教科と学年で情報共有し、指導にあたる。 ・自分のあり方生き方を考え、進路目標を立てさせる。 ・欠席・遅刻を少なくし、学校生活の充実をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校祭は準備期間が少ない中、前向きに中心学年として責任を持って取り組めた。 ・部活でも活躍する生徒も多くいた。 ・自学自習の定着にはまだ時間を要する。 ・学年で課題未提出者指導や、考査前学習会などを行い学習への意識を高めた。 ・類型選択は、担任との面談の中で指導・助言でき、比較的スムーズに決定できた。 ・週末課題や後期補習も多くの生徒が参加し、学習への意欲はみられた。 ・一部の生徒の欠席・遅刻が目立った。休みがちな生徒に対し、担任・保健部、カウンセラーと連携して解決できたものもあった。
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後を見据えた人間的成長 ・生徒の進路希望の実現とその支援 ・学校行事への積極的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・安易に進路を決定するのではなく、日々の授業を大切にしながら最後まで全力を尽くす学年集団を作る。 ・進路指導部と連携し、適切な助言、指導を行うとともに、補習や模試への積極的な参加を促し、学年全体で活気ある雰囲気を作る。 ・土曜日や業後の自習室の設置 ・西高祭を中心とした学校行事に対して、積極的に取り組む姿勢を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が進路実現や、その先の真の目標を見据えて努力することができた。しかし一方で、早期に卒業後の進路が決まった生徒の中に授業に対する取り組みが甘い生徒がいて、指導する場面があった。推薦入試やAO入試の在り方について、今一度考えていく必要性を感じた。 ・進路LTや学年集会、担任面談、保護者会等を通じて必要な助言、指導を適宜行った。補習や模試に対してもう少し積極性が欲しいところではあったが、学年全体としては進路希望の実現に向けて努力する雰囲気を形成していくことができた。 ・土曜日の自習室利用はあまり活発ではないものの、業後の自習室利用や、授業前の自主学習、昼放課の図書館の利用などは非常に良く取り組んでおり、自ら学習しようとする意欲が見られた。 ・文化祭では、舞台での発表に向けてどのクラスも団結して意欲的に取り組むことができた。このクラスの一体感を進路実現に向けても活かすことができた。